出会いから今年で10周年！
関川村×国際ボランティア学生協会IVUSA

IVUSAは村の財産

夏の大したもん蛇まつりのほか、冬のおおいし・どもんこまつりや七ケ谷雪ほたるなどのイベントにも駆けつけ、盛り上げてくれる学生たち。

さまざまな活動を通して、ようやく村の中でもIVUSAの認知度が高まってきました。

楽しみにしているのは学生だけではありません。再会を楽しみにしている村民も増えています。

村のために考え、活動するIVUSAは大切な村の財産です。

きっかけは村出身学生のひと言

IVUSAと村のつながりが始まったきっかけは、村出身学生の「地元を盛り上げたい」というひと言でした。

IVUSAとの最初の出会いは、2004年の大したもん蛇まつり。当時、村に来た学生は総勢47人でした。それから年々人数が増え、この10年間で延べ約1200人もの学生たちが「帰村」しています。

10周年を迎えた今年は史上最高となる203人もの学生が関東や関西から参加。また、大学を卒業したOB・OGも大勢まつりに駆けつけてくれました。

▲上土沢集落の地域の茶の間に参加。地元住民との再会を喜ぶ学生もいました。

4日間の活動を終えて

IVUSAリーダー
高　木　　祥さん

自分の大好きな村にみんなと一緒に帰ってくることができてとても嬉しかったです。感謝の気持ちが強くて、その想いを200人の仲間と形にすることができたと思います。

村の人たちは本当に温かく、変わっていなくて人と人とのつながりを嬉しく感じました。

今年で卒業になりますが、後輩たちには、今までよりも、もっと踏み込んだ関係を築いてほしいと期待します。

4日間、ありがとうございました。

「10周年記念アルバム」を作成！

このたび、IVUSA学生たちが10周年を記念してアルバムを作成しました。全20ページからなるアルバムは、これまでの年表や大したもん蛇まつり歴代リーダーのあいさつ、思い出の写真などが満載！10年分のありがとうがたくさん詰まっています。

アルバムを欲しい！という方は総務課企画財政班まで。無料です。（TEL 64－1476）

今年のまつりを振り返って　～参加者の声～

齋藤ミッキーさん
（ＩＶＵＳＡ学生）

現役生活最後のまつりとなりました。事前に村のことを勉強し、村のことを知ったうえで参加したので盛り上げようという気持ちが高まりました。自分の中ではすごく楽しめました。

大交流会では、毎年、出し物や司会を務めていたので皆さんに顔と名前を覚えてもらえて嬉しかったです。

加藤貴光さん
（内須川）

自分も製作に関わった集落の大蛇を担ぐ－そのことに誇りをもって毎年大蛇パレードに参加しています。

今年は担ぐのに快適な天候で疲労もあまり感じませんでした。担いだ者にしか分からない興奮を村内外の方々と共有できることが楽しいです。

田村優子さん
（平内新）

今回、初めて「おりの」の役をさせていただき、今年はいつもと違う目線でまつりを楽しむことができました。パレード中は、風になびく稲穂、吹き抜ける心地よい風、そして温かいもてなしに心がホッとしました。

個人的に大里峠大蛇伝説の影絵の芝居を手掛けているので、とても感慨深い思いがありました。

照井啓太さん
（関川中２年・深沢）

昨年よりも担いだ場所が重くてきつかったです。パレードでは大蛇に振られて担ぐのが大変でしたが、全校生徒で参加できて楽しかったし、良かったです。

また、来年のまつりが楽しみです。

初めて大蛇を担ぎました。周りの人たちから話を聞いていたので、担ぐ前は少し不安もありましたが、友達と参加できてとてもいい思い出になりました。

また来年、大蛇を担ぎたいです。

佐藤希実さん
（関川中１年・大島）

大蛇パレード参加のお礼
－ＭＡＴＳＵＲＩサミットに向けて－

大会会長　**平田大六**

えちごせきかわ大したもん蛇まつりに、ご協力・参加くださいましてありがとうございました。発表では、見物のお客さまは、花火・盆踊り１万人、大蛇９千人ということで、おかげさまで最高の人出となりました。

大蛇担ぎでは、各集落の皆さんをはじめ、関川中学校から全校参加いただきました。村外からも、国交省、30連隊、村上信用金庫、三条下田、共栄電工など、団体・企業の方々にも応援いただきました。ごくろうさまでした。

国際ボランティア学生協会の方々は「帰村」10年目ということで、２００名を超える学生の皆さんが数日間、ご協力くださいました。

皆さんの力が、ＭＡＴＳＵＲＩサミットへと結集いただければと念願し、お礼申し上げます。

今年もたくさんの
ご寄付をいただきました

大蛇パレード浄財
188,821円
ありがとうございました